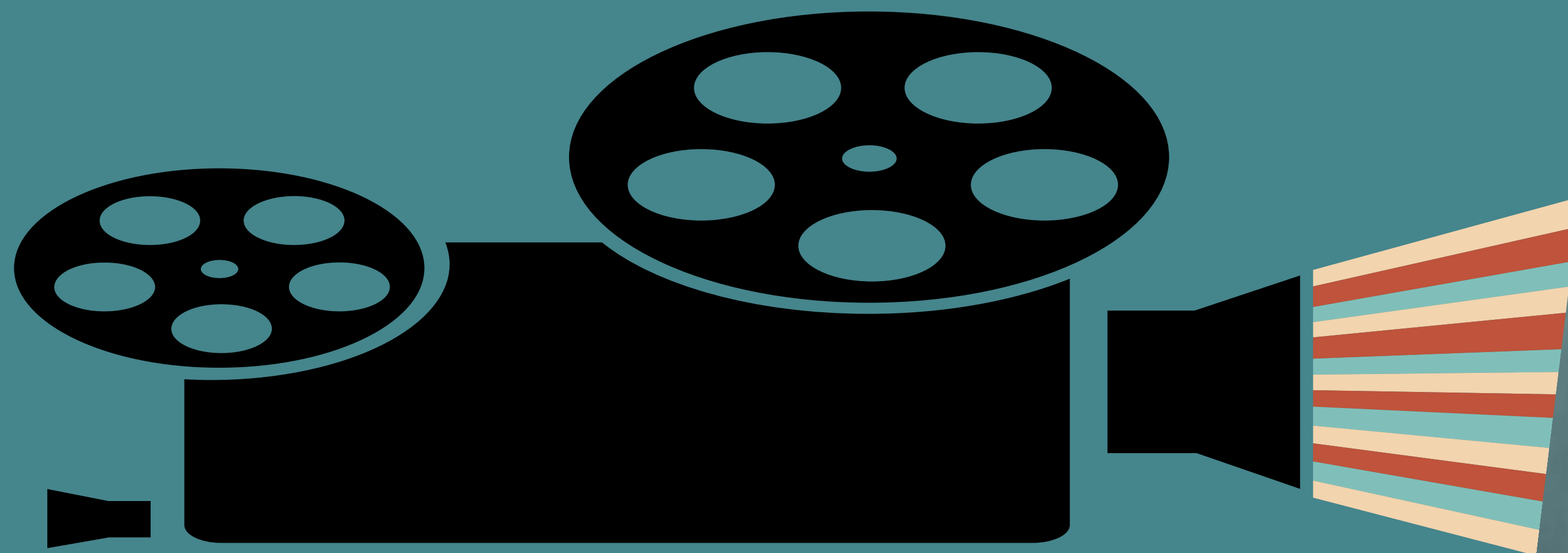


Book Film Festivalコンテスト 事務局（中央区）

派遣人材

リーダー：寺岡 剛太氏

メンバー：京 里美氏、乗友 美智子



初回ヒアリング（令和6年8月7日）

第1回派遣（令和6年9月3日）

第2回派遣（令和6年9月11日）オンライン

第3回派遣（令和6年10月9日）

第4回派遣（令和6年11月6日）

団体について～派遣に至るまでの事業展開

～Book Film Festivalコンテスト～

このコンテストはインターナショナルスクールで、日本語と継承語(親から子どもへ受け継がれる言語のこと)教えていた教師が、15年以上前に自身の教室活動を公開し、国内外のインターナショナルスクールの生徒に向けて、読書の推進と創造力の育成、生徒や教師をつなげるために、本を読んで、それを短い映像にまとめるというコンテストを始めた。



団体について～派遣に至るまでの事業展開

当初から作品を一般公開して来たが、2021年より、広く応募を募り交流をする場を設けることで学びを深めたいと考え、様々な分野の有志と新たな形でスタートした。

大阪市内各地で「Book Film Festival」の取組みを広めていき、ひとりでも多くの児童・生徒・学生に読書の推進と創造力の育成を図っていきたいと考えた。

そのために大阪市内の様々な団体(小中学校も含む)との繋がりがやアプローチの仕方、資金調達の方法等のアドバイスが欲しいと、地域公共人材の派遣を申し込まれた。



初回ヒアリング（令和6年8月7日）

<現状>

様々な連携や業務を行っており、
業務が増える一方で、
団体のミッションとの整合性が整理されていない。

<対応>

団体についてのイメージ共有を行うを目的とする。

- ①コンセプトのアイデア出し
- ②整理
- ③事業の再構築
- ④事業のまとめ

という流れで派遣を進めることになった。



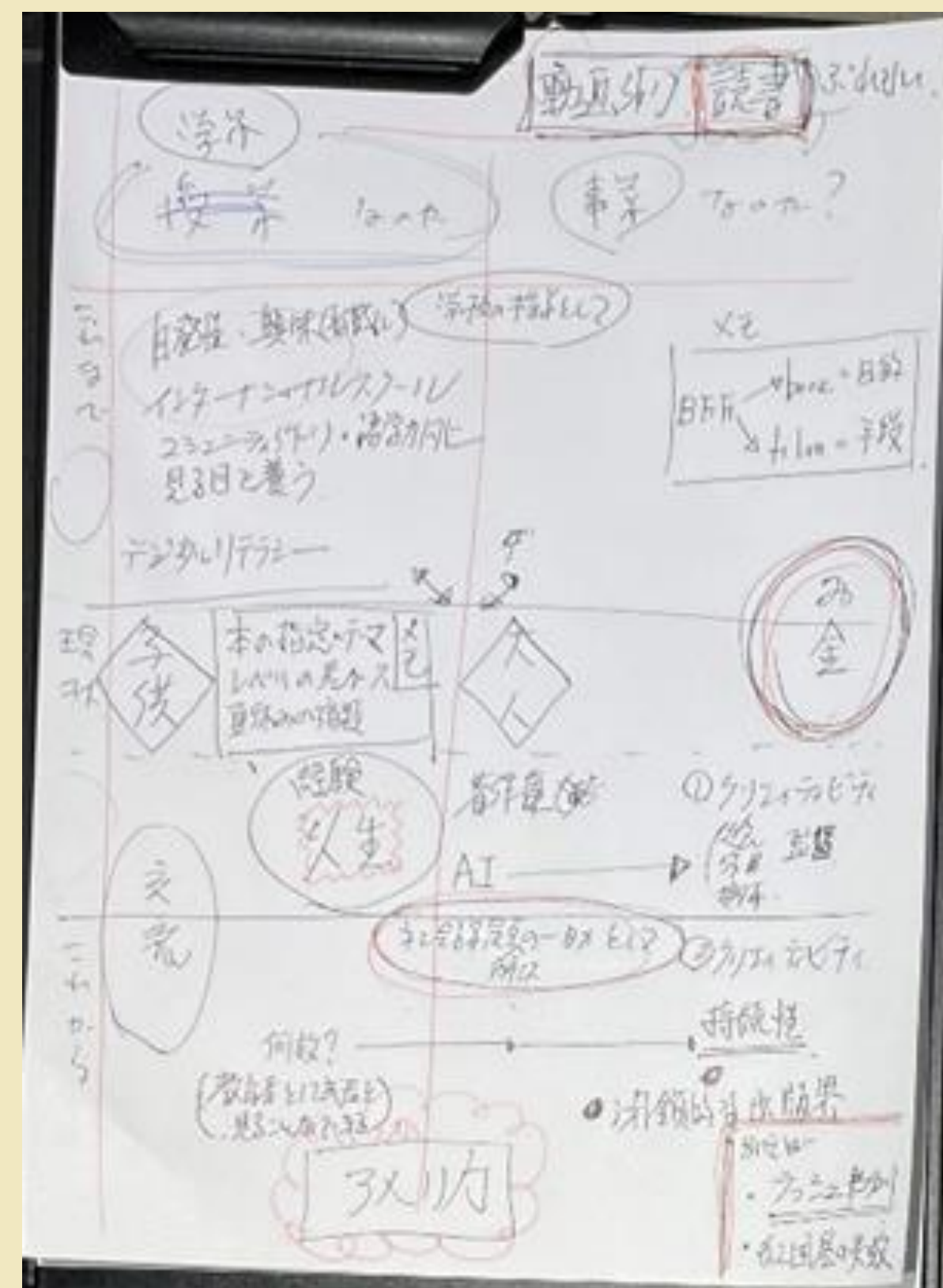
第1回派遣（令和6年9月3日）

団体のコンセプトのアイデア出し作業を中心に、
自団体が本当に大切にしているもの、
今後も譲れないものなどを整理しながら
「Book Film Festival」のイベントで得られる
効果、期待、キーワードなどを書き出した。

出てきたキーワードを以下のように整理した。
横軸に「授業的なもの」「事業的なもの」、
縦軸に「これまで」「現状」「これから」として6分割に
区分けをした。「Book Film Festival」が「大切にしてい
きたもの・これからも大切にしていきたいもの」「過去
の成果物＝目的達成したもの」をクリアにした。



第1回派遣（令和6年9月3日）



「**本**が大切」「なぜ大切？」「本を読んで欲しかった」
「その目的は既に達成しているのでは？」
ヒアリング時に出た言葉「**社会課題**」について、取り組もうと思ったことも有ったのですが・・・」



第2回派遣（令和6年9月11日）オンライン

Book Film Festivalの姿について引き続き整理をしながら、「**社会課題の解決**」という目標に向けたマイルストーンを模索し、

<これまで>

Book Film Festival＝本の書評を映像化

→ 映像、動画作成を通じてさまざまな教育効果

<これから> Social Film Festival＝社会課題の解決

→ 今までの事業のノウハウを活かしながら、

社会変革の広報的役割を模索するというイメージが出てきた。





剛太 寺岡の画面を表示しています NEC オプションを表示

The main area of the screen displays three sheets of handwritten notes. The leftmost sheet is on a clipboard and contains a flowchart with several boxes and diamonds, some labeled with numbers like 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100. The middle sheet contains a list of items, some circled in red. The rightmost sheet contains a large, complex diagram with many circles and lines, also with some red markings. The text is in Japanese, and the handwriting is in black ink.

第3回派遣（令和6年10月9日）

- ①法人運営についての基本情報の共有
- ②今後の法人運営のありかたについてのアドバイス
- ③第2回派遣でイメージ化できたSocial Film Festivalの事業イメージ、スケジュール感、人員や経費捻出に関するアドバイス
- ④資金調達の一部、及びマンパワーの調達方法として国内外のインターン制度を紹介し、その事業との連携を活かし、Social Film Festivalについての具体的なイメージを広げることができた。



第4回派遣（令和6年11月6日）

- ①「アジア留学生インターン受入助成プログラム」についての
内容確認
- ② 上記プログラムを取り入れた企画のアイデア
- ③ 上記事業実施の際のリスク、過去の利用実績や申請書類
のポイントなどについてイメージ共有を行った
- ④「Book Film Festival」及び「Social Film Festival」事業全般
において、いくつかの方向性とそのアイデアとリスクが共有
され、今後の活動において
取り組むべきことが見えてきた。
→5回を予定していたが4回目で、
今回の派遣は終了とした。

派遣先団体のご感想

大阪市や関西地域の取り組みや事例について、新たに学ぶことができ、非常に有意義でした。

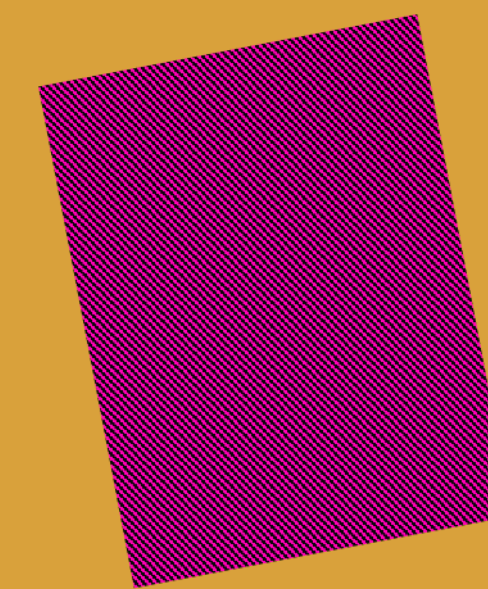
また、毎回とても前向きになれるポジティブなエネルギーをいただき、新たな視点を得ることができました。

考えが整理され、次のステップが見えたことで、自分たちの成長を実感しています。

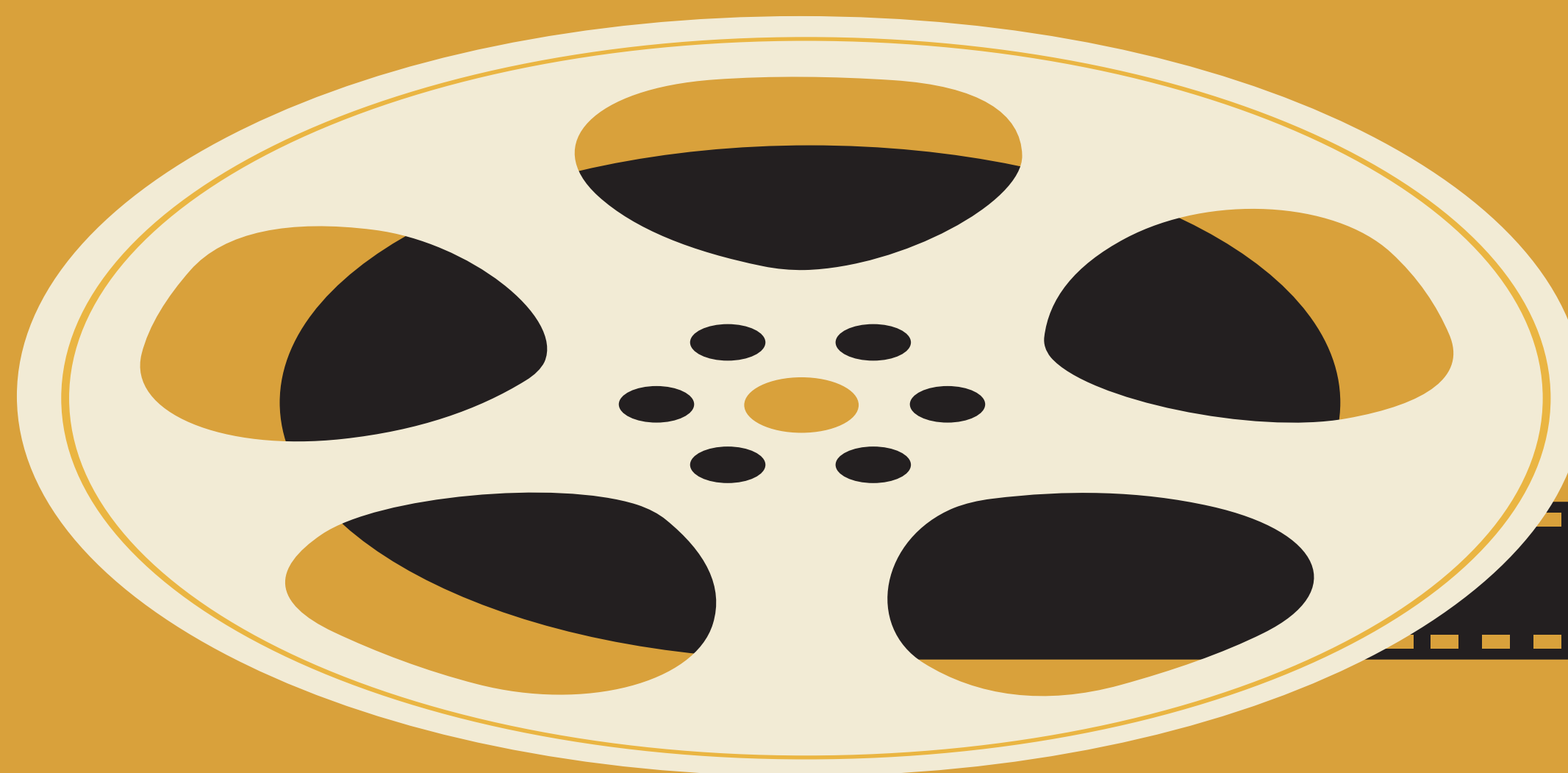
各団体の課題をしっかりと理解し、次のステップに進むための支援をしていただける、このようなオンデマンド型の公共サービスは他に類を見ないと思います。多くの知見を共有していただき、新たな可能性が見えたことに大変ワクワクしており、感謝の気持ちでいっぱいです。



ご清聴ありがとうございました



Book Film Festivalコンテスト
事務局（中央区）



乗友 美智子